

2019年1月1日

各位

2019年 年頭所感

セーレン株式会社
代表取締役会長 兼 最高経営責任者
川田 達男

明けましておめでとうございます。新年にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、燃料・原料価格の高騰など引き続き厳しい環境ではありましたが、第2四半期のセーレングループ連結業績は、おかげさまで、売上高・営業利益・経常利益・純利益ともに過去最高、利益につきましては、中間期として4期連続の最高益更新となりました。

2019年は、世界で経済交流の自由化が進み、企業のグローバル競争がより一層激しくなることが予想されます。また、I o T・A Iの普及により、わたしたちの生活は急速に進化し、大きく様変わりすると考えられます。セーレングループは、このような時代の大きな変化にしっかりと対応すべく、下記の重点戦略に取り組んでまいります。

1. 市場は世界（グローバルゼーション）

セーレングループのバリュープロポジション（付加価値）で、世界の市場・顧客を攻め、可能性をグローバルに広げていきます。

2. 情報化（I T戦略）

独自のデジタルプロダクションシステム「ビスコテックス」を軸に、在庫レスビジネスの拡大に注力していきます。また、I o T・A Iを活用した、スマートファクトリー化（省人・省資源・省エネルギー）を推進していきます。

3. ダイレクト、そして「素材」から「製品・商品」へ

セーレングループの一貫生産機能を活かし、「製品化・商品化」を拡大し、消費者へダイレクトに魅力ある商品をお届けしていきます。

セーレングループの2019年のキーワードを、「熱意×考え方×能力＝成果」といたします。社員全員が当事者として、「熱意」「考え方」「能力」3つの力を掛け合わせ、成果に結びつける仕事を進めてまいります。

そして、数値に表れない資産であり、企業発展の潜在力である「人材力」「開発力」「環境対応力」を高める経営に力を入れていきます。

2019年も、みなさまのご支援をお願いしますとともに、本年がみなさまにとりまして良い年となりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

以上